

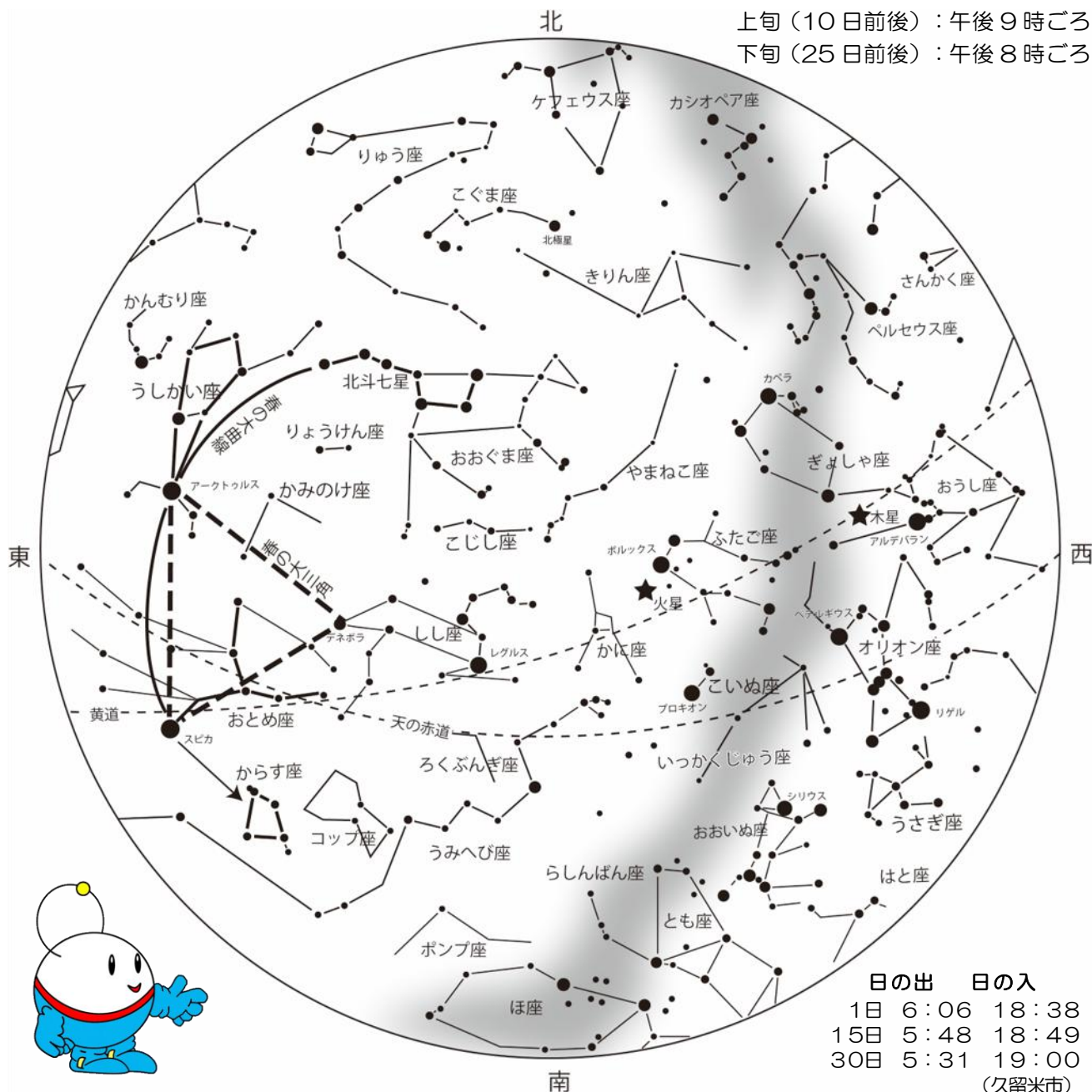
令和7年

4月の星空さんぽ

福岡県青少年科学館
TEL0942(37)5566



上旬(10日前後): 午後9時ごろ
下旬(25日前後): 午後8時ごろ



桜の花も見頃を迎え、日ごとに春の季節を感じる陽気となりました。今月は東の空からのぼりはじめた春の星座を楽しむことができます。春の星座探しは、北の空にある7つの星でつくる「スプーン」のような星の並び、「北斗七星」を探るところから始めましょう。北斗七星は**おおぐま座**の背中からしっぽにあたる部分になります。北斗七星を「スプーン」に見立てたとき、持ち手の部分から南に向かってカーブをのばしていくと、オレンジ色に輝く**うしかい座**の1等星**アークトゥルス**が見つかります。さらにカーブをのばしていくと、白く輝く**おとめ座**の1等星**スピカ**が見つかります。うしかい座はアークトゥルスから北側にのびる「ネクタイ」のような星の並びが目印です。おとめ座はスピカから「アルファベットのYの字」のような星の並びが目印です。北斗七星からスピカまでのばした大きなカーブは『**春の大曲線**』といい、春の星座探しのよい案内役になります。

南の空高いところには、1等星**レグルス**をたよりに「？」マークをひっくり返したような星の並びが見つかります。この星の並びは「**ししの大がま**」といい、しし座を見つける目印になります。また、しし座のしっぽで輝く星が2等星の**デネボラ**です。

そして、うしかい座のアークトゥルスとおとめ座のスピカ、しし座のデネボラを結んでできる三角形を『**春の大三角**』といいます。

春は霞がかった日が多いですが、晴れた夜にはぜひ、春の夜空に描かれる『春の大曲線』と『春の大三角』を目印に、春の星座探しを楽しんでみてください。

《4月の天文カレンダー》

日	曜	天 文 現 象	日	曜	天 文 現 象
5	土	● 上 弦 (11:15)	21	月	● 下 弦 (10:36)
6	日	月が火星に最接近 (05:08)	27	日	金星が最大光度 (-4.8 等)
13	日	○ 満 月 (09:22)	28	月	● 新 月 (04:31)

【惑星の見え方】 (☆マークは、今月のおすすめです。)

水星 (1.2 等前後) : うお座付近

☆金星 (-4.2~-4.8 等) : みずがめ座→うお座付近

☆火星 (0.6 等前後) : ふたご座→かに座付近

☆木星 (-2.1 等前後) : おうし座付近

土星 (1.2 等前後) : みずがめ座付近

観望に適さない。

日の出前、東の低い空で輝く。

日の入り後、南西から西の空で輝く。

日の入り後、西の空で明るく輝く。

観望に適さない。

注目の天文現象 (4 月) ~月と金星と土星でつくる「困り顔」を探してみよう~

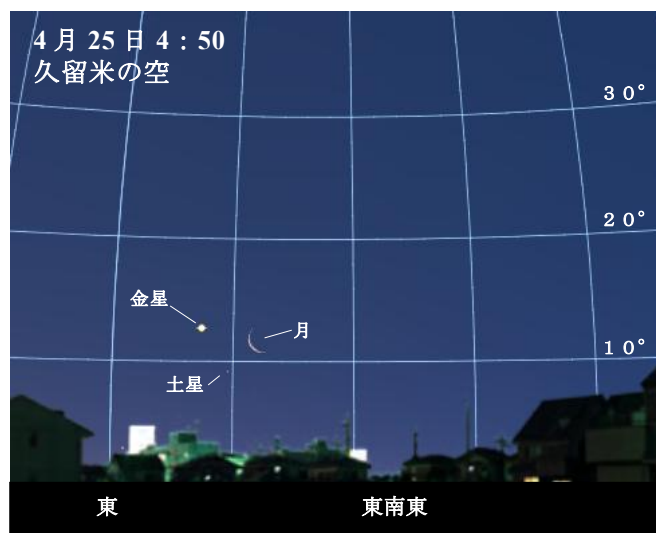
4 月 25 日、夜明け前の東の空で、月と金星と土星が三角形の位置に並びます。顔を北側 (左) に少し上げて見ると、金星と土星が目、月が口のようで、少し困ったような顔にも見えます。

ただし、日の出 1 時間ほど前の時間帯でも、東の空低い位置になりますので、見晴らしの良い場所ではないと観察は難しいかもしれません。金星と土星と月でつくる「困り顔」を探してみてもいいかもしれません。

また、2 日後の 27 日には金星が最大光度を迎えます。光度は -4.8 等にもなり、ひと際強く輝く金星が見られるでしょう。この明け方に見られる金星を「明けの明星」といいますが、4 月以降は、9 月頃まで東の空で見られます。

この機会に他の天体とともに、明けの明星を楽しんでみてはいかがでしょうか。

《月と金星と土星のようす》



【ステラナビゲータ 11 / 株式会社アストロアーツ】

《天文イベントのご案内》

☆市民天体観望会 4 月 26 日 (土) 20:00~21:00 要予約

「春の大三角と火星を楽しもう」

■対 象 : どなたでも (ただし中学生以下は保護者同伴) ■定員 : 100 名

■参加費 : 無料

■予 約 : 4 月 12 日 (土) 9:30 よりオンラインにて先着順に受付開始。



○オンラインでの予約受付について

- ・イベントのご予約は右のQRコード、または当館ホームページよりお願いいたします。
- ・ご不明な点がございましたら来館またはお電話にてお問合せ下さい。(☎0942-37-5566)

ご予約用QRコード



最新の情報は、ホームページまたはお電話にてご確認ください。